

Act! One Planet Lifestyle

# 植物油って ナオ一に？

親子パンダの  
ワンプラBOOK  
植物油編

# 植物油って、いったいどんな植物の油？

「植物油で健やかに！」

ある日、ママパンダがテレビを見ていると、

“健康にいい植物油”が取り上げられていました。

「コパンダの食べ物には、

植物油を使ったものを積極的に選ばなくちゃね。」

ためになる話を聞いて満足げなママパンダに、コパンダがたずねました。

「ねえママ？ “しきくぶつゆ”って、なにからできるの？」

「えっ！？」ママパンダはハッとしました。

「何の植物の油かなんて、考えたことなかったわ…」



「お困りのようじゃのう？」

親子パンダのもとへ、

突然、一匹のオランウータンが現れました。

「ワシは南の国からやってきたオランウータン。

植物油のことなら、なんでも聞くがよい。」

「それじゃあ…」

ママパンダはおそるおそる聞きました。



「植物油って、いったいどんな植物の油なのかしら？」

「うーん、いい質問じゃな。植物油と言っても、

実はその原料はさまざまなんじゃ。

まずは、そこからお話ししなくてはのう。」

# 植物から作られた油はすべて、植物油？

「一般に植物油は、菜種、パーム、大豆、こめ、ひまわり、とうもろこし、ごまなど、さまざまな原料からできておるのじゃ。」

「“パーム”って、何かしら…？」ママパンダは聞きました。

「パーム油は、熱帯で育つアブラヤシという植物の実からとれる油。

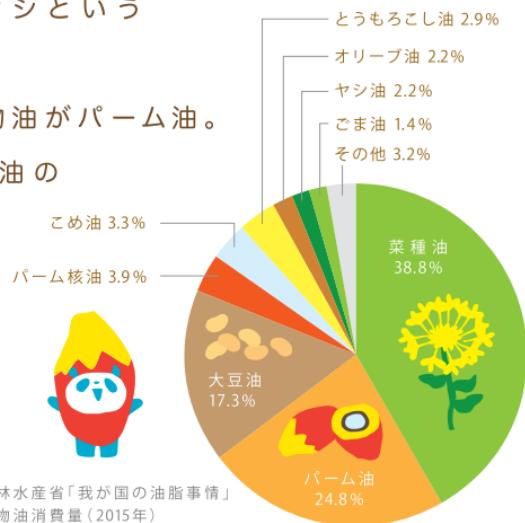
いま、世界で一番使われている植物油がパーム油。

そして、日本で使われている植物油の

1/4 がパーム油なんじゃよ。」



アブラヤシ  
©WWF ジャパン



出典：農林水産省「我が国の油脂事情」  
日本の植物油消費量（2015年）

「でも、“パーム油”なんて、どこにも書いてないわ。」

ママパンダは、いろいろな商品の裏面を見て言いました。



「日本では法律によって、植物由来の油は何からできた油なのかを書かなくともいいことになっているんじゃよ。」

「えっ…、それじゃ何の植物かひと目で分からぬのね。」

ママパンダは困ってしまいました。



\*商品ラベルには、“植物油脂” “加工油脂” “ショートニング” “マーガリン” “グリセリン”などいろいろな名前で表示されています。

# パーム油って、何に使われているの？

「それとね…」ママパンダはたずねました。

「パーム油は何に使われているのかしら？」

「パーム油は、特定の温度で液状油(オレイン)と

固体脂(ステアリン)に分けられるんじや。

酸化しにくい液状油は賞味期限の長い加工食品に、低い温度でも

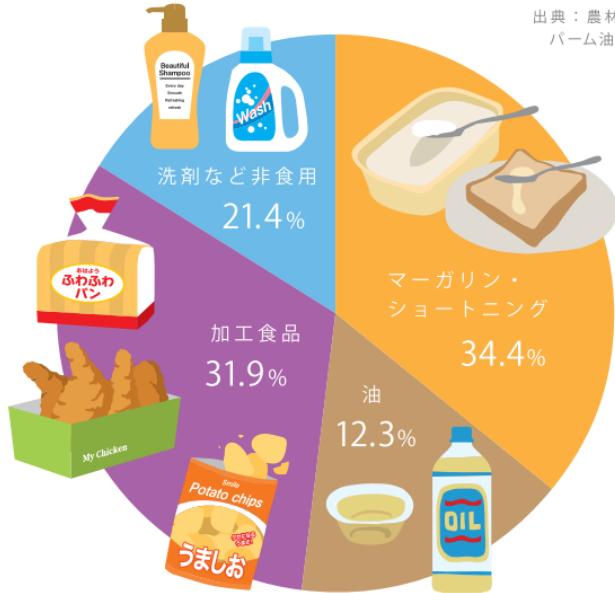
溶けやすい固体脂はマーガリンやお菓子などに利用されているんじや。

そのほかにも、パーム油はいろいろ加工されて、

石鹼・洗剤、化粧品などにも使われておるんじやよ。」



出典：農林水産省「我が国の油脂事情」  
バーム油・核油用途別消費量（2015年）



「パームゆって、カメレオンみたいだね。  
いろいろなものにかわっちゃうんだもん。」



# パーム油は、どこからやってくるの？

パーム油についてもっと知りたくなったママパンダは、  
産地の状況についても聞いてみました。

「原料はアブラヤシって言う植物だけれど、  
どうやって作られているのかしら？」

「インドネシアとマレーシアが主な生産国。  
そこには、アブラヤシの農園がたくさんあるんじゃよ。」

オランウータンは、緑がいっぱいある現地の写真を見せてくれました。

アブラヤシ農園の様子



©naturepl.com / Tim Laman / WWF-Canon



「アブラヤシは、一年中収穫できるんじゃ。収穫されたアブラヤシの実は、トラックに載せられて、工場で油を絞られて港に運ばれ、そして日本にもやってくるんじゃよ。」

「へえー。それはたくさんの油が採れるんでしょうね。森の恵みだわ。」  
ママパンダは感心しました。  
ママパンダには初めて知ることばかり。



工場に運ばれるアブラヤシの実



©WWF ジャパン

それでもオランウータンは、まだ何かを伝え足りない様子です。

# パーム油が、動物たちを苦しめている？

パーム油についてひと通り学んだママパンダは、  
コパンダのためにも、これからますますパーム油を  
使ったものを選ぼうと考えるようになりました。

「待ってくれ。もうひとつ、大切な話があるんじゃ。」

オランウータンは言いました。

「ワシらの他にも、ゾウやトラなど、

パーム油のために苦しんでいる仲間がおるんじゃよ。」

ママパンダは驚きました。

「アブラヤシの森が、動物たちを苦しめているなんて…。  
どういうことかしら？」



オランウータンは、ゆっくりと話しあはじめました。

「昔は熱帯のジャングルで、仲間の動物たちは森の恵みで暮らしていたんじゃ。最近になって、人間が自然の森を壊してしまってのう…。

アブラヤシがたくさん植えられるようになって、一面アブラヤシ農園になってしまったんじゃ。森に見えても実は、農園なんじゃよ。」

ママパンダが写真で見た緑は、まさにその農園。森の恵みではなかったのです。

アブラヤシを植えるために切られた森



©WWF-UK



アブラヤシの実

©James Morgan / WWF-International

「もとあった自然の森を壊して、アブラヤシの農園にしているのね。

しかも、こんなに広く…。動物たちは暮らしていけないわ。」

ママパンダは悲しくなりました。

## 「いいパーム油」と「わるいパーム油」がある？

「大規模なアブラヤシ農園が広がることは野生生物のすみかを奪ってしまうだけではないんじゃよ。」

オランウータンは、いま現地で起きていることをさらに教えてくれました。



「森を追われたトラやゾウが村の近くに出てきたり、畑を荒したりするようになり、危険を感じた人間が、動物たちを殺してしまうことが起きておるんじゃ。それに小さな農家が国立公園の中に入りこんでアブラヤシを植えたりといったこともあるんじゃよ。」

しかしのう。すべてのアブラヤシ農園がいけないわけではないのじゃ。  
いま世界では、持続可能な方法でパーム油を使うための取り組みが  
始まっておって、環境や社会のことも考えてアブラヤシを  
栽培している農家や、そのアブラヤシから作られた“いいパーム油”を  
利用する企業が少しずつだが増えはじめておるんじゃ。」



# 私たちにできること？ いい油って？

「それらの製品にはRSPOという認証マークが付いておるんじゃ。でも日本には、マークのついた製品はまだまだ少ないんじゃよ。」オランウータンは悲しそうに訴えました。

「ママ、いいパームゆが、もっといっぱいになるといいね！」

「そうだわ！ 友達ママパンダたちに、植物油の話を広めてみよう！ そして、みんなでいいパーム油を応援しましょう。」

コパンダもママパンダも、いいパーム油を応援しようと、やる気満々のようです。

「大好きな動物たちも、大好きなお菓子も、どちらも大切にしなくちゃ。」



パーム油は私たちの生活になくてはならないものです。  
だからこそ、私たちWWFは、【RSPO】に賛同している  
企業のみなさんと一緒に取り組みを進め、  
「いいパーム油」を選択できるようになりたいと考えています。  
何よりも、いいパーム油を増やすには、  
生活者のみなさんの応援が必要です。

製品に使われる植物油の  
由来に关心を持ちましょう。



RSPOマークのついた商品を  
お店で探してみてください。



さらに詳しく知りたい方は、WWFホームページをご覧ください。



[www.wwf.or.jp](http://www.wwf.or.jp) もしくは

WWF パーム 検索





The logo features the text "One Planet Lifestyle" in a colorful, stylized font. The letter "O" in "One" is replaced by a blue globe showing continents. The letter "P" in "Planet" has a small white flower sprouting from its top. The letter "L" in "Lifestyle" has a small yellow plant sprouting from its top. The letters are in various colors: "One" (blue), "Planet" (green, blue, orange, red, purple), and "Lifestyle" (orange, red, yellow, green, blue, purple).

One Planet Lifestyle とは

大切な地球の恵みをむだにしない「地球にちょうどいい生きかた」のこと。

そのアイデアをみんなで一緒に考えていきましょう。

[oneplanet-lifestyle.jp](http://oneplanet-lifestyle.jp)